

どうぶつこうえんニュース



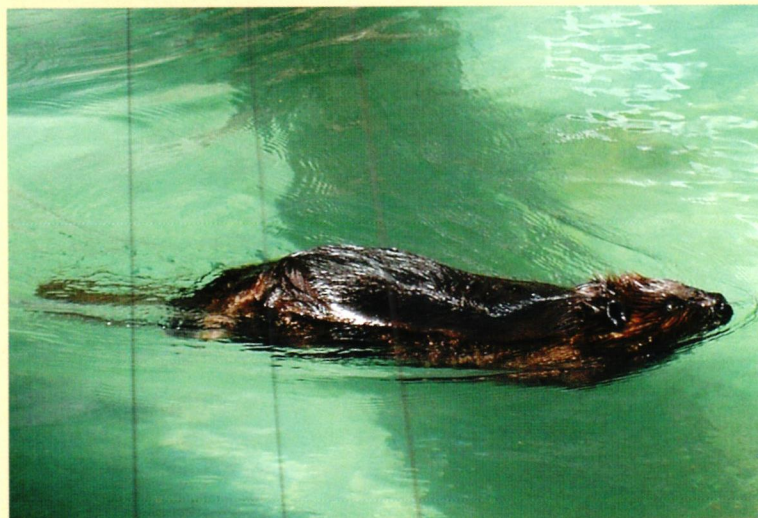
 **千葉県動物公園**
Chiba Zoological Park

No.55

2005

春

アメリカビーバーがやって来た



千葉市動物公園の小動物ゾーンでは、レッサーパンダやコツメカワウソなどといった誰でも知っているかわいらしい動物たちの行動を周近で観察することができます。今回紹介するアメリカビーバーも同ゾーンの水中の様子を見ることのできる半地下式の施設で飼育展示されています。

このビーバー舎に新しくオスのビーバーが釧路市動物園からやって来ました。2002年5月7日生まれ

の若い個体です。まずは健康チェックのために2週間の検疫を健康管理センターで行い、その後、獣舎に慣れてもらうため1週間室内で飼育してから晴れて展示場デビューとなりました。

以前からいるメスと比べると体が一回り小さく、体毛や尾も艶やかで若々しい雰囲気を出しています。また新しい場所なので早く自分の居場所を確立したいのか、放飼場に立てた直径20cm程度の桜の枝を次々と削り倒し、樹皮をきれいに削ぎ落とし巣材として巣に持ち込んでいます。それと動作も身軽で、水中ではヒレ状になっている尾と後ろ足を巧く使い泳ぐ姿を

ガラス越しによく見ることができます。

ダムを作ることで有名なビーバー、その材料は木の幹、木の枝、木の葉、土などです。しかし、この作業を展示場内で行われるとすぐに水が濁ってしまいます。毎週月曜日にプール掃除を行っていますので、週の前半が見頃です。ぜひ一度、足を運ばれてみてはいかがでしょうか？

樽川 修 (Osamu Tarukawa)

目次

CONTENTS

表紙【ヒワコンゴウインコ】	①
トピックス	
【アメリカビーバーがやって来た】	②
特集【動物の食事タイム】	③
写真コンクール	④
さとうあきら先生講評	⑤
動物公園の植物【ヤマモミジ】	⑥
飼育よもやま話【飼育係 vs とり】	⑥
動物公園日誌から【'04.11/1~12/31】	⑦
裏表紙【ワオキツネザルの双子】	⑧
Information	⑧

表紙の説明 ヒワコンゴウインコ

すべてのオウム、インコ類のなかで、最も色彩豊かなコンゴウインコ類は、南アメリカ大陸の熱帯地方の森林で見られる。2属10種が現存しており、ヒワコンゴウインコはその1種である。サーベルのような長い尾、鎌のような形の巨大なくちばしを持っており、それを巧みに使う。全長は、85cmほどあるがそのうち3分の2近くは尾である。目のまわりと頬の部分には羽毛がなく、ほぼ全身若草色をしており、前頭部の深紅色が目立つ。当園では、3羽を飼育していますが、そのうち若い2羽は、広島市安佐動物公園で繁殖した個体です。残りの1羽は、東京都井の頭文化園で20年ほど飼育された後、当園にやってきた個体です。

小林 正典 (Masanori Kobayashi)

撮影：宮川 千尋 (Chihiro Miyakawa)

動物飼育数

平成17年1月末現在の飼育数

Classified number of animals
as of 31 Jan. 2005

哺乳類	67種	387点	両生類	1種	1点
鳥類	76種	287点	魚類	0種	0点
爬虫類	5種	24点	総計	149種	699点



動物の 食事タイム

動物の食事時間

10:10	フンボルトペンギン	子ども動物園
11:00	チンチラ、リス	子ども動物園
11:30	ウマ、ヤギ・ヒツジ	子ども動物園
11:30	ニホンザル	モンキーゾーン
11:50	カピバラ	子ども動物園
13:10	コツメカワウソ	小動物ゾーン
13:30	レッサーパンダ	小動物ゾーン
13:30	ウマ	子ども動物園
14:00	ヤギ・ヒツジ	子ども動物園
15:30	カリフォルニアアシカ	鳥類水系ゾーン
16:00	フンボルトペンギン	子ども動物園

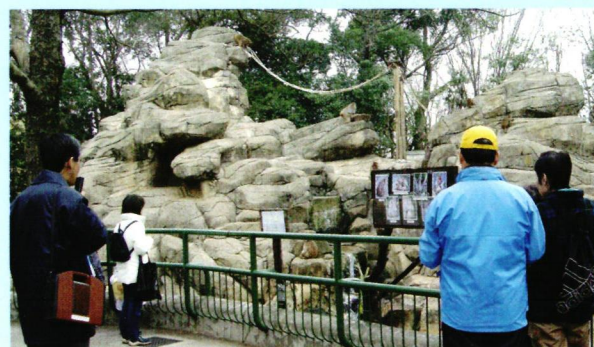
※ 15:00～アジアゾウの収容時間にあわせて、食事風景がご覧になれます。
(動物の健康上、変更もあります)

動物たちは、だいたい毎日決まった時間に食事をしています。それぞれ動物の体のリズムにあわせて、1日2回～3回程度の食事タイムとなります。お客様がご覧になれるのは、その中の一部ですが、この表を目安にいただき、どんな食事をどのくらいしているのか、ぜひ観察してみてください。ニホンザルやカピバラ、ペンギンなどはほとんど毎日ガイドも行っています。また、園内放送で食事時間のご案内をすることもあります。どうぞお楽しみ下さい。

並木 美砂子 (Misako Namiki)



ガイドのときは、小さなお子さんも使えるシールつき観察シートもあります。



ニホンザルについてガイドをしているところです。飼育担当者による一個体一個体の写真看板もあります。

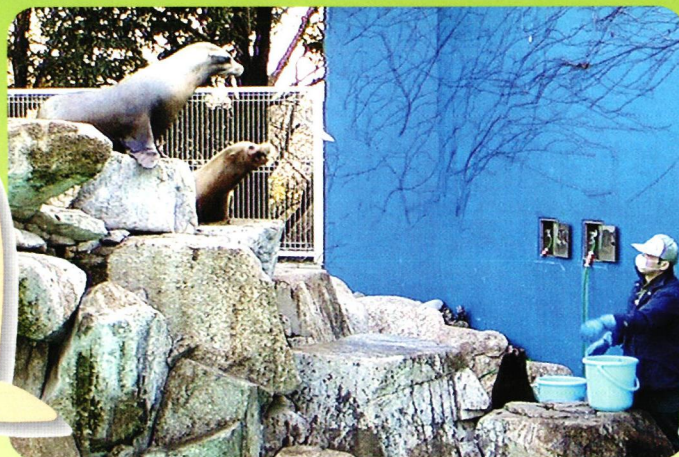


レッサーパンダ

昨年、日本平動物園からやってきた風太君。笹の葉が大好きです。親指のつけねにちょっとしたでっぱりがあって、それで笹の枝をはさんで食べます。この指は「第6の指」とも言われます。

カリフォルニア アシカ

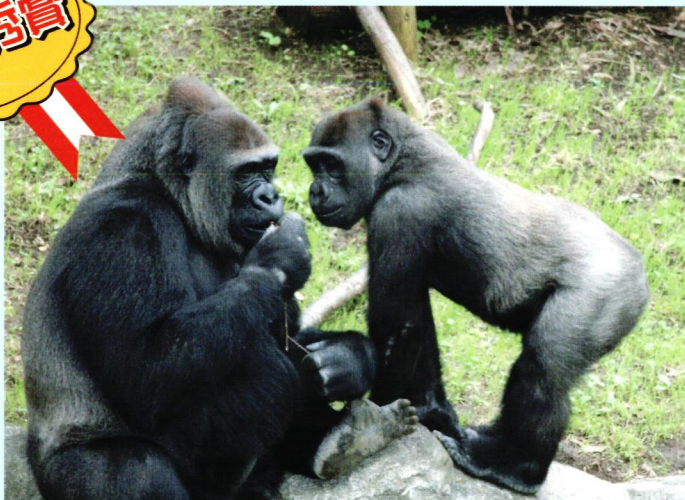
アシカたちは、いつも食欲旺盛。上手にお魚(アジやサバ)をキャッチして食べます。アシカは食肉類だけあって、鋭い歯をもっていて、1匹丸ごと噛み砕いて飲み込みます。食事の後はよく豪快なダイビングを披露してくれます。



平成 16年度

写真コンクール入選作品

最優秀賞



それなあに？

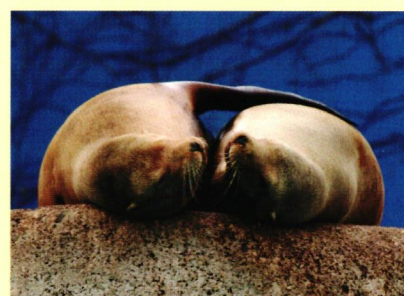
藤本京子

入選



仲良し

小川 悟志



愛に包まれて

波多野 保



にらめっこ

矢野 哲郎



真夏の一時

高田 由美



大はしゃぎ

後藤 敬一

優秀賞



お食事中

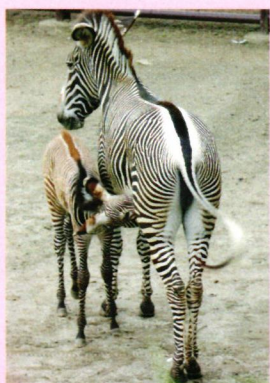
なみ き す み こ
並木 寿美子



瞳の輝き

たか やま けい じ
高山 景司

佳作



オッパイおいしいな

ふじ もと たいら
藤本 平



たからもの

ち ば もと こ
千葉 基子



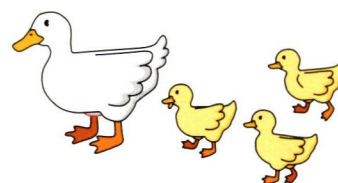
親子で整列～！

さ さ き たけ ひろ
佐々木 岳大



威風堂々

いし がわ よし ひこ
石川 良彦



応募総数284点

選考を終えて

さとうあきら

たくさんの応募写真を並べたテーブルは壮観です。どれもみなさんの自信作。見落としがないように、すべての作品を何度も拝見します。その中からどうやって入選作を選ぶのか。わたしの選考基準は次のふたつです。①撮影者の想いが伝わってくるか、②写真には写っていない画面のまわりの状況まで想像できるか。最後に被写体となった動物を同じ種類(たとえばゴリラならゴリラの写

真)で比較します。そして入選作を決めるのです。

絵を描く、文章を書く、ピアノを弾く…。何かを表現しようと思うときには、やはり練習が必要です。写真も、カメラやフィルムなどを使いこなす技術が求められます。でも技術だけではなく、何を表現したいのか、いつも考えて撮影してください。動物写真でも、人物写真でも、風景写真でもかわりはありません。良い写真は見る人を楽しませ、感動させ、考えさせるものです。みなさんも審査員になったつもりで、ご自分の作品を見つめなおしてみませんか。



動物公園の植物…②⑥

The plants in the Zoological park

ヤマモミジ【山紅葉】 (Acer palmatum var. matsumurae)



落葉高木で、動物公園内には約100本植栽されており、各ゾーンに点在して植えてあります。来園の皆様は秋には真っ赤な紅葉を楽しんでいただいております。

高さは約5～10mになり、母種のイロハモミジに似ていますが、葉はやや大きく樹姿、紅葉が美しく日本庭園、個人庭園、公園等に多く利用され、盆栽も多くの愛好者がいます。また用材として建築・器具材としても利用されています。分布は本州中・北部の日本海側となっていますが、北は北海道の札幌市の並木に植栽されています。

カエデ系の園芸品種は江戸時代～明治時代にかけて、オオモミジ、イロハモミジ、ヤマモミジ等を改良した多くの園芸品種が作られ、葉の色もさまざま見られ、広く親しまれています。ヤマモミジは樹高のわりに横幅が大きく広がり枝下は低く、幹は真っすぐに伸びず、枝も湾曲し曲線を描きます。その線型により日本的な印象にあふれていることから、日本らしさを表現する代表樹木の一つとなっています。

紅葉は秋を代表するもので、各地に紅葉の名所を作り、日本の秋の主役であることはもちろんですが、また新緑の頃も若葉が美しくみずみずしさを感じ与えてくれます。モミジは、春に好し、夏に好し、秋にさらに好しと四季を通じ、私達を楽しませてくれますね。

染谷 正仁 (Masahito Someya)



飼育よもやま話

飼育係 vs とり

今回は、科学館バードホールの改修に伴う鳥の捕獲方法について話をしましょう。

バードホールは、3階吹き抜けのため、ただ追いかければいいというものではありません。小型の鳥はわなを使って、その他の鳥は追いかけて捕獲することとなりました。

① わな編

わなは、「落としかご」を使いました。これは、かごの中の止まり木に鳥が止まると回転し、ふたが閉まる仕組みになっています。このかごの中に、ターゲットの鳥の餌を置き、捕まるのを待ちます。この方法で、2種を完全に、他の1種は半数捕獲できました。

② 体力編

我々は、ある程度追いかけると鳥は疲れて地上に降り、捕獲できるであろうと考え、各階と天井に各2名、他に自由に動ける者を2名配置し開始しました。鳥に休む暇を与えず追いかけましたが、鳥よりも先に我々が疲れ、予定の半分も捕獲できませんでした。

③ わな編 パート2

体力勝負の翌日の朝、前日あれほど逃げ回っていた鳥が捕まっていたのです。前日の勝負があったからこの結果につながったと思うことにしました。

その後も次々と捕獲され、気が付くとすべて捕獲できていました。

改修後のバードホールへ来たときには、我々飼育係と鳥の攻防を想像して下さい。思わず笑みを浮かべてしまうかもしれませんが、一味違った見方ができると思います。

伴野 修一 (Syuichi Banno)





動物公園日誌から

From Zoological Park Diary

’04年11月1日～’04年12月31日

- 11月1日 ワオキツネザル繁殖（2頭）
- 11月2日 落葉プール開始
- 11月4日 子ども動物園のウマ、ロバ削蹄
チリーフラミンゴ、1羽死亡
- 11月5日 コツメカウソ、交尾
- 11月6日 クイズ大会開催



- 11月8日 カピバラ、子ども性別判定（雄3、雌1）
コツメカウソ、展示のメスとブリーディングのメスを入れ替える
- 11月10日 都賀中学校、職場訪問
- 11月11日 小見川中学校、職場訪問
- 11月13日 連続講座（江戸時代のくらしと動物）
講師：千葉市美術館 浅野 秀剛先生
- 11月14日 ワンポイントウォッチング（チンパンジー）
子ども動物園、ヒツジの毛のカーディングの実施体験
- 11月17日 若松高校、職場訪問
本町小学校、総合学習
幸町第二中学校、職場体験
- 11月23日 紙芝居会
- 11月26日 クラーク記念国際高校、職場体験
- 11月28日 バルーンアートショー
- 11月29日 アメリカビーバー（雄1）、釧路市動物園より受贈
- 11月30日 ソウガメ、ケヅメリクガメ、体重測定



- 12月2日 クロザル放飼場にロープ設置
- 12月4日 ウマのはにわ展始まる
- 12月5日 ヒワコンゴウインコ（雄1、雌1）、安佐動物園より借受
ワンポイントウォッチング（タンチョウ）
- 12月6日 エミュウ、産卵
- 12月11日 Zooキッズデー実施
- 12月12日 紙芝居会
- 12月13日 ニホンキジ（雄1）、新着
アメリカビーバー（雄1）、検疫明け、ビーバー舎へ移動
- 12月18日 カンムリヅル、草原ゾーンよりゾウ放飼場へ飛来 雌ゾウ少し驚くが特に問題なし



- 12月19日 クリスマスシアター
- 12月24日 アフリカハゲコウ、寒くなってきたため、アジア舎へ移動
- 12月25日 ゲルディモンキー、展示室をゴルフネットで2室に分ける
- 12月27日 スミレコンゴウインコ、産卵
- 12月29日 アビシニアコロブス（キクウ：雄）、死亡
浅野 洋之（Hiroyuki Asano）

編集後記

大型台風、新潟県中越地震、スマトラ沖地震（ツナミ）と相次ぎ、災害に襲われた方々には、一日も早く元の生活に戻れる様に心からお祈り申し上げます。自然災害の怖さを思い知らされた今日この頃です。

おかげさまをもちまして、当動物公園ニュースは第55号発行となりました。さらに、内容の充実をはかってまいりる所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。

このニュースを読者の皆様にお届けする頃は、寒さも和らぎ、梅は満開も過ぎ、桜のつぼみもほころんでいることと思います。そしてもう春、絶好の行楽日和。どうぞ皆様おそろいで、当動物公園にお越し下さい。職員一同お待ちしております。

なお、次回発行は平成17年6月1日です。

名和 全孝（Zenkou Nawa）

※ゴールデン・ウィークは道路が大変混雑しますので、なるべくモノレールをご利用下さい。



ワオキツネザルの双子



Information

3月・4月・5月の 催し物一覧

- ★ 3月19日㊦ 春のZooクイズラリー
- ★ 3月20日㊦ 紙芝居会
- ★ 4月17日㊦ ワンポイントウォッチング(コアリクイ)
- ★ 5月8日㊦ バードウィーク講演会
- ★ 5月15日㊦ ファミリーシアター
- ★ 5月22日㊦ ゆかいな森の音楽会
- ★ 5月29日㊦ ヒツジの毛刈りと紡毛教室